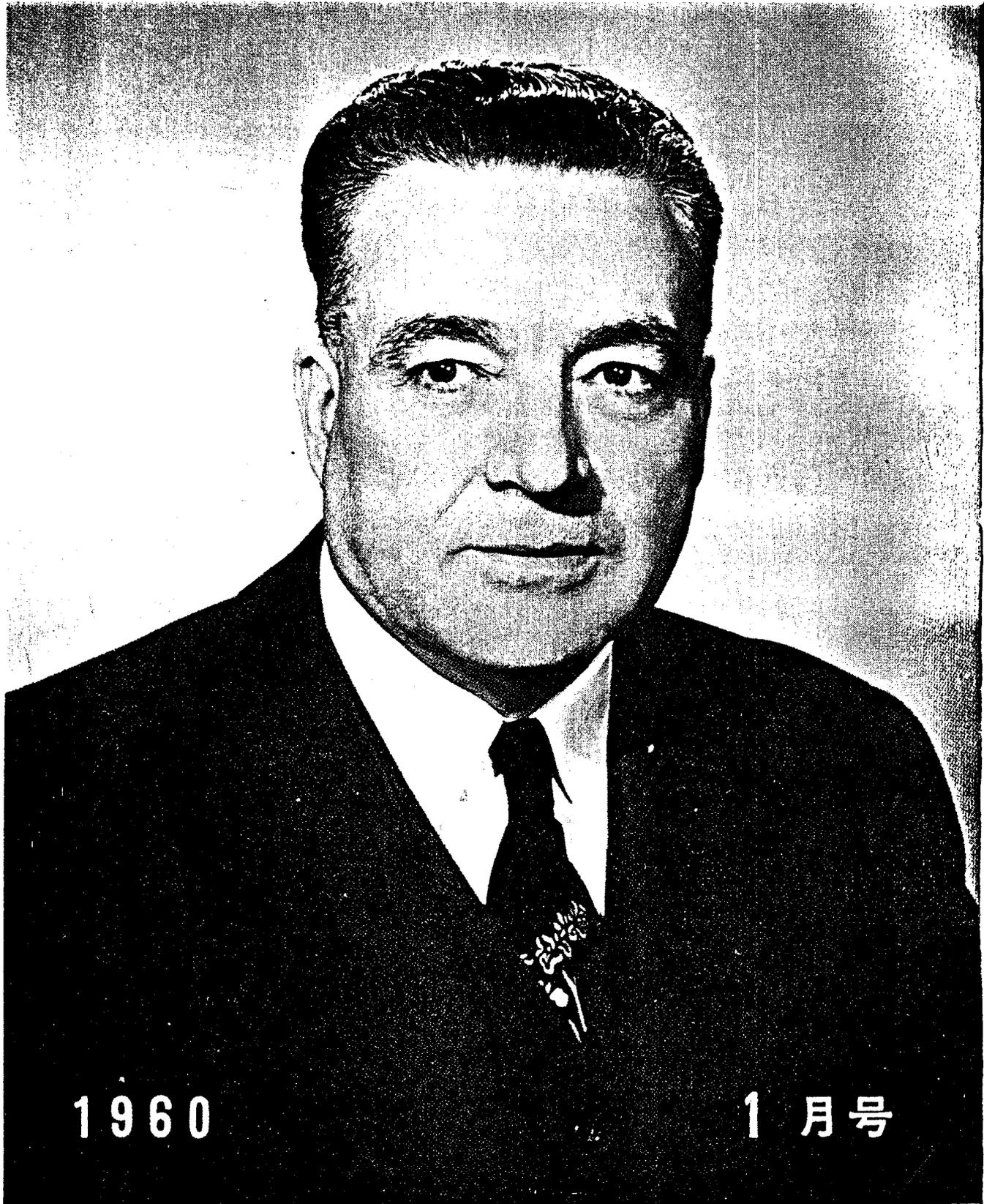


聖徒の道



1960

1月号

末日聖徒イエス・キリスト教会

内 案 書 函

教義と聖約	高価なる真珠	モルモン経	教義と聖約	高価なる真珠	モルモン経	モルモン経 (新訳)	モルモンとは	完成への道	初等協会教科書	総合聖句の手引	日本系図探究要覧	古代アメリカの生活	旧約聖書物語	家督権の祝福	扶助協会手引
合本	合本		合本												
.....
一〇〇円	一〇〇円	二〇〇円	三〇〇円	二〇〇円	二〇〇円	二〇〇円	一〇〇円	二〇〇円	一五〇円	一五〇円	一〇〇円	一〇〇円	一五〇円	一〇〇円	五〇円

日曜学校用

宗教と生活 II	よきおとづれ	聖書物語	福音の實踐	聖典中の指導者	MI A 用	役員と指導書の手引	我らは奉仕する	Mメン・グリーナーの手引	演劇指導者基礎知識と脚本集	演説が上手になる法	社交ダンス必携	新しいフォークダンス	讃美歌及び歌集	末日聖徒讃美歌	末日聖徒讃美歌拔萃	子等は歌う	レクリエーション歌集
.....
一五〇円	一〇〇円	一五〇円	一五〇円	一五〇円	一〇〇円	一〇〇円	一〇〇円	七五円	一五〇円	一六〇円	五〇円	三〇〇円	三〇〇円	三〇〇円	一〇〇円	四〇〇円

..... 註文は各支部長へ.....

明 け ま し て
お め で と う
ご ざ い ま す

聖 徒 の 道 1960年 1 月 号

〔 予 言 者 の こ と ば 〕

音楽は世界のことば……デビッド・O・マッケイ…(2)

〔 伝 道 部 長 メ ッ セ ー ジ 〕

明けゆく空

目覚むる世界……ポール・C・アンドラス…(5)

「モルモンの教義」

死者の代りのバプテスマ……佐藤竜猪…(8)

永遠の結婚……(13)

タバナクル合唱団……(16)

極東に於けるモルモン

私の改宗……川口弘祐…(11)

〈 系 図 〉

Reading Machines

系図図書館装備を強化す……

……ジョージ・L・スコット…(18)

新に十二使徒に召された

ハーワード・ウイリヤム・ハンター……(25)

私の証詞……吉沢敏郎…(20)

習慣以上のもの……紙谷愛子…(21)

＝ 求道者のための読物 ＝

モルモンとは(1)……ゴルドン・B・ヒンクレー…(22)

末日聖徒イエス・キリスト教会歴史枠

ジョセフ・フィールディング・スミス……(27)

伝道本部だより……(31)

表紙の説明

ハロルド・ビンガム・リー長老……(33)

リー長老夫妻の思い出……渡部正雄…(33)



も
く
じ



靈感を受けて語りたる

聖き予言者たちの

ことばを信じたる者

永遠の生命を得べし

音楽は世界のことば

大管長 デビッド・O・マッケイ

(私) はソルトレーク市ならびにアメリカやカナダの大都市に於て合唱を行ったソルトレーク・タバナクル聖歌隊に各方面から寄せられた感謝のことばに仲間入りをして同聖歌隊に心からの感謝を捧げる。このタバナクル聖歌隊の全員は、わが教会のみならずユタ州のほまれと芸術とを代表する善意の使節として各地を巡廻して来た。この人たちの行った奉仕によって、他のどんな団体もおそらくこれまでに為し得なかったほどの好意と称賛とが私たちに寄せられている。このソルトレーク・タバナクル聖歌隊は、その真価によって、世界に於ける偉大な聖歌隊の一つであるという著しい認識を人々に与えることに成功した。この聖歌隊はわが教会の会員全部から感謝を受ける資格がある。私は、この合唱団の団員がその働きをするのを見て、あれほど自分の時間と金とを捧げている合唱団が世界にあるとは思わない。私はこの聖歌隊の団員が自分の利益を忘れて献身をし、この偉大な義務に対して絶え間なく心を注いでいることを教会員になり代って心の底から感謝する次第である。

私たちは、わが教会のいたるところに存在する合唱団および聖歌を唱う人々に感謝をし賞讃の言葉を捧げる者である。私たちは大会の開催中タバナクル聖歌隊のほかにいつもその人々の唱うのを聞く。おそらく或る集会

に於て、私たちは福音のためにはるばるヨーロッパからや
って来た男女の唱い手の一団を迎えることがある。この
人たちに対して、私たちは心の中に持っている賞讃の念を
どう言い表わしたらよいか解らない。この人たちは数々の
シオンの歌を本当に上手に唱う。また、いかにも喜んでそ
の奉仕をしている。

このほかにまた扶助協会から出ている「シンギングマザ
ーズ」(唱う母親)がある。この(唱う母親)という名称
さえも、私たちにぎせいと愛と家庭とについていろいろな
ことを物語っている。かれらが本当に靈感を与えるように
また私たちの靈性を高めるように唱うのは少しも不思議で
はない。同じように、私たちは神権会の総会で唱うタバナ
クル聖歌隊の中の男声合唱隊のことを忘れることができな
い。わが教会の大学から出ている若人たちの合唱隊、アロ
ン神権者たちの合唱隊およびMIAの六月大会に唱った人
々の団体は本当にいつもすばらしかった。この高い希望を
胸に持った若人たち、信仰を持った若人たち、清純な若人
たちはたびたびタバナクルに於ける聖歌隊の席に一ぱいと
なりそとの席まであふれ出た。私たちは忘れようとしても
その光景を忘れることができないであろう。本当に彼らは
唱うことによりその若い心を投げこんで愛を表現している
ようである。従って私たちもみな本当にそれと一致するで
はないか。多くのワード部や支部には、聖歌隊や扶助協

会、日曜学校およびMIAの団体がある。また私たちは子
供の日曜学校や初等協会の子供たちを忘れてはいけない。
本当にこの子供たちの歌はかわいらしいではないか。

主は「すべて心の歌は、われの悦びなり、然り、義しき
者の歌はわれに対する祈りなり。彼らの頭に祝福を与えて
その応えとなさん」(教義と聖約二十五〇十二)と仰せに
なった。

まったく、末日聖徒イエス・キリスト教会は唱う者たち
の教会である。いつまでもそのようであるように私は祈る。
世の中には言葉や身振りのどちらを使っても表わすこと
のできないような思想はない、しかしどんな言葉でも言い
表わすことのできない感情が人間の心の中にある。それで
あるから私たちはこの感情を表わすほかの方法を備えてい
なければならぬ。それは、例えてみれば音楽、美術、建
築など、如何なる国民にも属さず人間の心の言葉を語るす
ばらしい芸術である。音楽は世界に通ずる。その歌詞はポ
リネシヤ語やイタリア語やドイツ語や英語であつても、そ
の曲はいつでも誰の心にもよくわかる。

(音) 楽は神聖な芸術である。それであるから、音楽を愛
する人々は悪い人々でない。しかしながら、音楽にはまた
人間の中にあるひとときわ劣等な感情に訴えるものもある。し
かし、今私たちの話している音楽は私たちを高めて一層高
貴なまた一層良い世界へ私たちを連れて行くものである。

それであるから、私は最初からこの神聖な芸術を理想として持ってきた教会の会員であることを喜びとしている。

私は「わが天父」(百十九番)「恐るな聖徒よ」(八十二番)「福音を持たむ」(百八十番)、そのほか私たちの教会の讚美歌が靈感に充ちて唱われるのに耳を傾けるときに、いつでも音楽は世界のことばであると思う。そして、それがすぐれて上手に唱われたときには、本当に深い感動を私たちの心に与えるではないか。

私は皆さんに、この神聖な美しい調べの芸術を更に深く更に良く発達させなさいと申し上げる。良い音楽があなたの心に満ちているような生活をしようと努めなさい。

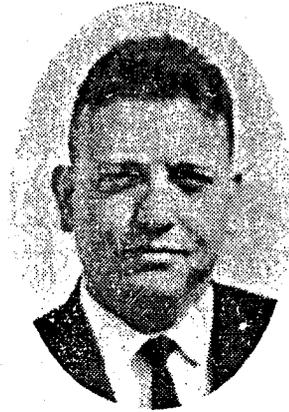
(回) 復された福音を伝える言葉をまだ受け入れていない私たちの友人の間で、シオンの讚美歌を唱うほど大きな宣教師の働きはほかにあり得ない。あのカーセイジの獄に暴徒が突入する寸前、数箇の銃丸が大祝福師ハイラムとその弟の予言者ジョセフとの生命を断とうとした寸前、防さくを施した広間を通してモントゴメリ作曲になるあの美しい讚美歌「悩める旅人」(百九十三番)が四壁にこだましていたことを私は思い出す。キリストを讃めたたえ感謝を捧げる曲こそ、ジョセフ・スミスとその兄ハイラムの靈に与えた最後の印象であった。

これまで世の人々の耳に入った最もすばらしい話が、天の合唱隊を伴った一人の天使によって宣べ伝えられた。そ

れは最も光榮に満ちた話であるばかりではなく、またこれまで述べられた最も美しい話であると私は信じている。キリストの輝やかしい誕生に際して、天の合唱隊は何を唱ったか。全世界を通じてほとんど二千年の間鳴りひびき、真理を愛する人々の胸に宿るはずであるどんな言伝てを彼らは世の人々にもって来たか。第一は、あらゆる人が天にまします彼の父なる神をあがめ奉るべきこと、ベツレヘムに於て救い主としての誕生のとき肉体をとりたまひ、この世に住んで御父すなわち万物の創り主の栄光を現わしたもうた神を讃めたたえること。第二は熱情にあらずまた幸福にもあらず、人類の受けることのできる最大の祝福であるところの平安。第三は人に対する善意である。この思想はいかにも偉大ではないか。しかし、この三つの原則を喜んで迎える人のいかに少いことよ。天使の告げたこの言伝てが万国の民のものとなる日を速かに来らせたまわんことを祈り奉る。この言伝てを行いにより言葉により歌によって宣べ伝える位置を占めているすべての人々に平安があるように、そしていつの日か私たちすべての者が、この天の合唱隊の歌を宣べ伝えられるべき言伝てとしてでなく「地には平和、人には善意」という意味をもって全地を満たしてしまつた言伝てとして再び耳にする資格があるように祈り奉る。

明けゆく空

目覚むる世界



ポール・C・アンドラス

時間五百マイルから二千マイルに及ぶ高速度で空を飛んで居ります。科学が多種多様の分野でこれまでに収めた業績は真に驚ろくべきものがあります。

ところで、まさに終ったばかりの十年間に、多くの破壊的の戦争がひき続き世界各地で大きな破壊を及ぼして居ります。この十年間の始めのころに終った朝鮮戦争、および終りの五年間ひき続き行われ今なお行われているアルジェリヤ戦争などは幾十万の人命を奪い、また地球上に住む何百万という人々に惨害を与えて居ります。スエズ戦争、ラオス戦争および中共との戦争などは、更に多くの死と損害とをこれにつけ加えました。恐るべき核兵器は過去十年間に公然と戦争には使われて居りませんが、兵器の競争は今に至るまで続いて居り、文明国の大部分を一掃するに足る原子爆弾があること

今年が始まることはキリスト紀元の新しい十年代、すなわち千九百六十年代が始まることを示していますから、私たちは一息ついて、ちょうど終ったばかりの十年間に起ったいろいろの出来事を考え、また今始まったばかりの十年間に起ることをじっと考えざるを得ないのであります。まさに終ったばかりの十年間に、人類の示した工芸上の進歩は今までにない高さに達しました。地球のまわりを旋廻する人工衛星と、月世界に着陸したり太陽系の非常な遠距離を天かける人工ロケットによって、宇宙時代は突然目ざましい有様で始まって居ります。ジェットエンジンをもった飛行機は、今や一

は疑いを容れないところであります。

また、まさに終ったばかりの十年間に多くの天災がひき続き世界に大きな損害を及ぼしました。大洪水、飢饉、地震、大暴風なども毎年ひき続き多くの死傷者を出して居ります。日本では、昨年九月に史上空前の台風が名古屋市に大損害を与え五千の人命を奪いました。一昨年は、伊豆半島を襲った台風と洪水で千人以上の人々がまた千九百五十七年には九州の大洪水で千人以上の人々が生命を失って居ります。これと同じような大異変は過ぐる十年間に世界いたるところを襲って居ります。なかでも最も重要なのは神の王国が過去十年間に偉大な進歩を遂げたことであります。わが教会の会員数は、ちょうど終った十年間に五十万人をよほど上廻った数だけ増加し、千九百五十八年中には六万七千四百八十五人ふえまして、その年の終りには百五十五万五千七百九十九名の会員がありました。専任宣教師は千九百五十八年の終りでその数が千四百五十名だけふえて合計六千二百十四名となりました。また非専任宣教師の数は千九百五十八年の終りでその数が二千六百七十三名だけふえて合計六千五百九名となり、宣教師の数は両方合せて千九百五十八年の終りで四千二百二十八名ふえて総計一万二千八百二十三名となりました。過去十年間に百以上の新しいステーク部が組織されたので、わが教会には今や二百八十九のステーク部があります。伝道部の数は千九百四十九年末に四十四から五十にふえて居ります。ちょうど終った十年間に四つの新しい神殿が建って居ますから、今は十二の神殿が運

営されています。まことにその通り、過去十年間に神の王国は著しく大きくなって居ります。

今やちょうど終った十年間に、神の王国はアジアに於て史上空前の優れた進歩を遂げました。かつて千九百四十八年に日本伝道部の再開された際、日本には約百五十名の教会員があつて、この百五十名だけが全アジアに於けるわが教会の会員でありました。そして、千九百四十九年末までに日本に於ける会員は百七十八という数を示しました。中華民国伝道部は千九百四十九年ホンコンに開かれましたが、その年の末までに一人の改宗者も得られませんでした。千九百五十一年には不安定な政治情勢のために宣教師は全部ホンコンからひき上げ、極東に於けるすべての教会活動は日本伝道部の下に置かれました。ジョセフ・フィールディング・スミス長老が千九百五十五年東洋に來られた時、同長老はアジアに於ける一大突破を開始する信号を上げて、日本、韓国、沖繩を含む北部極東伝道部と、ホンコン、台湾、フィリピンおよびグワムを含む南部極東伝道部とを組織いたしました。それから後ひきつづき、全教会の中にあるどのような他の外国伝道部に於けるよりも大きな速度で多くの改宗者が教会に入り始めました。そして千九百五十九年末までに、北部極東伝道部の三千五百名と南部極東伝道部の二千名と合せて約五千五百名の会員ができました。これらの改宗者のうち四千名以上が最近の四年間に教会へ入りましたので、史上始めてわが教会はアジアに於

て優れた進歩を収めつつあるのであります。現在、この南北両極東伝道部の一つ一つで約百名の宣教師が働いて居ります。

そこで、今まさに始まりつつある千九百六十年代は、わが教会の歴史を通じて最も進歩する十年となる見込みがあります。千九百六十九年が終わらないうちに、百万人以上の会員がわが教会に加わることは全く確かであると思われれます。専任宣教師の数はおそらく今の二倍以上約一万五千名となり、また非専任宣教師もおそらく約一万五千名という数にのぼるにちがいありませんから、活潑に福音を宣傳伝える宣教師が合せて三万名あるにちがいありません。

今まさに始まりつつある十年の間にアジアに於けるわが教会がどうなるかという見込みはきわめて有望であります。今すでに宣教師が働いている各国でその見込みが有望であるばかりでなく、アジアに於けるほかの国々で伝道部を開く見込みも結構あるのであります。私の考えでは千九百六十九年末までに現在の二つにひきかえておそらく八つか十の伝道部がアジアにあるでしょう。会員数も現在の五千五百名から二万五千名乃至五万名の間にあり、アジアで働く宣教師の数もおそらく五百名乃至千名になるでしょう。

日本に於ては、千九百六十九年末までにおそらく一万名乃至二万名の会員があり、二百名から三百名の専任宣教師があることでしょう。また千九百六十九年が終わらないうちに二つのステーク部が日本で組織されることは可能であり、これからの十年間のうちにいつか韓国は別箇の伝道部として組織され、千九百六十九年が終わらぬうちに京城に一つのステーク部が組織されることは可能であります。韓

国に於ける会員はおそらく五千名乃至一万名にふえるでありましょう。また専任宣教師の数もおそらく約百名にふえるでありましょう。沖繩では会員の数がおそらく千名乃至二千名となり、専任宣教師の数もおそらく約二十五名となるであります。千九百六十九年が終わらぬうちに現在の伝道部の中に三十五乃至五十の新しい集会所が建てられると私は信じます。まことにその通り、これから始まる十年には、アジアに於てまた全世界に於てわが教会が収める大きな進歩が見えるにちがいありません。

これからの十年間に神の王国をうち建ててゐるため、あなたはどのような役割りをつとめますか。もしもわが教会に対する有望な見込みが実現されるべきであるならば、現在の各会員はみな大きな信仰と働きとを実証しなくてはなりません。あなたは福音の教えに忠実になつて下さいますか。また神の王国をうち建ててゐるために働いて下さいますか。あなたは教会の集會に百パーセント出席して下さいますか。またこれからの十年中完全に「什分の一」を納めて下さいますか。あなたはこれからの十年中に何人の人を教会に導き入れて下さいますか。これから始まる十年中に人類は月世界に飛んで行き、数々の戦争は相変らず国土を荒廢させ、天災は相変らず荒らしまわることでしょう。しかし、キリストがその御手を以て樹立したもうた神の王国である末日聖徒イエス・キリスト教会は本当に目ざましい有様で發展して行くにちがいありません。あなたは自分の役割をつとめて下さいますか。あなたはこれからの十年中に神があなたにさせたいとお思ひになる働きをして下さいますか。

「死者の代りのバプテスマ」(八)

佐藤龍猪

もし復活なくば、死人のためにバプテスマを受くるもの何を為すか、死人のよみがえること全くなくば、死人のためにバプテスマを受くるは何のためぞ。

(コリント前書、十五章二十九節)

一、バプテスマはすべての人に必要

バプテスマを受けることは救われるために欠くことのできない条件であつて、この条件は生きてゐる人々だけでなくて死んだ人々にも適用される。主イエス・キリストはニコデマスに向つて「まことに誠に汝に告ぐ、人は水と霊とによりて生れずば、神の国に入るに能はず」(ヨハネ伝三〇五)と仰せになつた。「水によりて」とは水によるバプテスマのことであり「霊によりて」とは「聖霊を与えるための按手札」のことであるのは明らかであるが、主はこれ

が今生きていて福音を聞く機会のある人間だけのことであつて、すでにこの世を去つた人間には関係がないという意味を表わす言葉を何にもつけて仰せになつてはいない。はつきりと、何の条件もつけずに「人は水と霊とによりて生れずば、神の国に入るに能はず」と仰せになつてゐる(ジョセフ・フィールディング・スミス長老著「救いの教義」第二巻一六一頁)。今生きてゐる者もすでにこの世を去つた者も共に同じ父なる神の子らであり、同じ慈悲深い恵みにあずかるはずである。キリストが身代りとなつて罪を贖いたもうたのは、キリスト

がこの世に居りたもうた間に生を受けていた僅かな者や、キリストが世を去りたもうた後に人間としてこの世に生れる者たちのためだけのことではない。キリストのぎせいは過去、現在、未来にわたつてこの地球に住むすべての者のために捧げられたのである。キリストは父なる神によつて生ける者と死ぬる者との審き人に定められたもうた(使徒行伝十〇四十二、テモテ後四〇一、ペテロ前四〇五)。キリストは生ける者にも死ぬる者にも共に主である(ロマ書十四〇九)、それは神の前には皆生ける者である(ルカ伝二十〇三十八)からである(信証講義七〇十六)。そこで、神の前には皆生ける者であるから、救われるために絶対に必要であるバプテスマは、過去、現在、未来を通じて此世に在る者と此世を去つた者との区別なくすべての人が受けなくてはならない儀式である。

二、福音はすべての人に知られていない。

世界歴史の歩みの中には福音が人類に宣べ伝えられなかつた長い「霊の暗黒時代」があった。またキリストがこの世を去りたもうた後、福音の教えに背いたために救いの儀式を

執り行ふ神権を持つ者が一人もこの世に居ない時代があった。人類全体に就いて言う、と、これまでに福音を耳にした者はきわめて僅かであり、また福音を聞いて信じその道に従った者は本当になおさら僅かである。われわれの先祖に就いて言っても、福音を聞いたことのある人はきわめて僅かであり福音の律法に従った人は本当に僅かである。ところで、このように福音を聞く機会もなく、従って福音の道を履み行ふこともできないままにこの世を去った大多数の人々(その中にはわれわれの先祖、親戚も入っている)が、単にそうした理由で、幸にも福音を聞いて信仰しその道に従って救われるわれわれと同じ機会を与えられないで、救いの機会を失ってしまうということは全く不合理であると言わなければならぬ。

三、死者に宣べ伝えられる福音

それであるから、死んだ者たちに福音が宣べ伝えられなくてはならぬことは明らかである。またこのような働きが用意されていることは聖典の中で多くの所に述べてある。ペテロはイエス・キリストの使命に就

いて述べ「福音の死にたる者に宣べ伝えられしは、かれらが肉体にて人のごとく審かれ、霊にて神のごとく生きんためなり」(ペテロ前書四〇六)と誌している。実

際キリストは死んで復活したもうまでの間に、その霊は靈界に行つて死者の霊に福音を宣べ伝えて導きと恵みを施したもうた。

ペテロ前書第三章十九—二十章には「また霊にて往き、ひとやにある霊に述べ伝えたまえり。これらの霊は昔ノアの時代に方舟の時従わざりし者どもなり」と明らかに誌してある。ノアの時代に不従順であった靈たちに福音を宣べ伝えることが正当であると思えるならば、種々な時代に神の言葉に従わなかつたほかの靈たちに福音を受け入れることのできる機会を与えることも正しいではないか。ノアの時代のように神の律法を無視し不従順であった靈はその後の何れの時代にもあつた。もしも、神の真理に逆らい故意に不従順であつた靈たちを救うために備えがしてあるならば、これまで福音を聞く機会がなかつた一層大多数の者たちが救われないうちにうち捨てておかれる道理がない。(信証講義七〇二十一—二十三

参照)

四、死者が救われることの予言

主は古えの予言者を通じて「死者の贖われる日の来る」ことを約束したもうた。すなわちイザヤは「いわく、主なるわれ義しきをもて汝を召したり。われ汝の手をとり汝を守り、汝を民の契約となし異邦人の光となし、而して盲人の目を開きとらわれ人をひとやより出し、暗黒に住める者を檻の内より出さしめん」(イザヤ四十二〇六・七)と言ひ、また「その日主は高き所にて高きところのつわものを罰し、地にて地のもろもろの王を罰したまわん。かれらは囚人が穴に集められるごとく集められてひとやの中にとざされ、多くの日を経てのち訪れを受くべし」(イザヤ二十四〇二十一・二十二)と言つた。また「主なる神のみたまわれに臨めり。こは主われに油をそぎて貧しき者に福音を宣べ伝えることを委ね、われを遣わして心の傷める者をいやし、とらわれ人にゆるしを告げ、いましめられたる者に解き放ちを告げ」(イザヤ六十一〇一)と言つたが、これは束縛を受けてとらわれ人となつていた生ける者にも死ねる者にも導きと恵みを施したもう「贖い主」の

使命を述べているのである（ジョセフ・フイルディング・スミス長老著「救いの教義」第二巻一五五頁）。旧約聖書の最後の書であるマラキ書第四章五節すなわち最後の節には「みよ、主の大いなるおそるべき日の来る前にわれ予言者エライジャを汝らにつかわさん。かれ先祖の心にその子どもを思わせ、子どもの心にその先祖を思わせん。こはわが来りてのろいをもて地を撃つことなからしめんためなり」と言つてある。ここに言うところの「子どもの心にその先祖を思わしめん」という予言はすなわち現在この世に在る子孫が先祖の系図を作ることによりまた神殿に於て「身代りのバプテスマ」を受けていることにより事実となつて現われている（「救いの教義」第二巻一五四頁）。

五、死者の代りのバプテスマ

前に述べたようにバプテスマは救いを受けるために欠くべからざる儀式であるから、バプテスマを受けずには救われることができない。ところが、バプテスマは此世に属する儀式であるから霊界に在る人々、これを受けることができない。すなわち、

霊界に在る人々は、霊界に於て福音を聞き悔改めて福音を受け入れることもできるが水に沈められるバプテスマを受けることはできない。この場合死者の身代りとなる者が出てきて「死者の代りのバプテスマ」そのほか必要な儀式を神殿の中で執り行うことによつて目的を達することができる。「死者のための救い」の教義の基となっている大原則の一つは、先祖と子孫が相より相助けることである。予言者ジョセフ・スミスが「すなわち先祖と子らとの間に或種の事項につき或種の固き繋がりなき時は、この世は咀いをもて撃たれることこれなり。見よ、そもそもその事項とは何なるか。そはすなわち死者に代るバプテスマなり。死者なくばわれら全うせらるるを得ず、またわれらなくば死者もまた全うせらるるを得ず。われらも彼らもまた福音を受け入れて死にし者なくては全うせらるるを得ざるなり」（教義と聖約百二十八〇十八）と教えたとようにこの世を去つた先祖と現在生きている子孫との間を結びしっかりと連鎖がなければこの世はのろいを以て撃たれるであろう。神の計画には子孫も先祖も共に独りでは完全になれないと定めてある。そし

て、現在生きている者が「死者の代りのバプテスマ」と救いに関聯したいろいろな儀式を神殿の中で受けることによつて必要な結び固めができるのである。子孫はその先祖がなければ完全になれぬことを知るので、彼らの心は開かれ、信仰は強められ、彼らの死者を贖うために善い働きが企てられる。またこの世を去つた者たちは彼らの子孫を身代りとなつて救う者としてたよらなくてはならぬことを知るので、その愛の働きが完成するよう現在生きている子孫を霊界から助けようとするにちがいない。（信証講義七〇二十九参照）

参 考

- イザヤ（二十四〇二十一—二十二、六十一〇一、十二〇六・七）、詩篇（十六〇十一）、マラキ（四〇五）、オバデヤ（二十一）、ヨハネ伝（五〇二十四・二十五・二十八・二十九）、ペテロ前（三〇十八—廿）、コリント前（十五〇十九）、教義と聖約（百二十四〇二—十五—三十九・四十一、百二十八〇十八）



極東に於けるモルモン

私の改宗

川口弘祐

(岡町支部)

一九五五年の早春の或日母が次の出来事を僕に知らせました。「近日伯父の家に新しいキリスト教の宣教師が無料で福音を教えに来る」と。僕にとって別に不思議な事でもありませんでした。それは川口家の宗教はキリスト教である事を幼い頃から教会やお墓参りに行って知っていたからです。父も生前は素行に似合わず教会には熱心でした。その宗派はギリシヤ正教として先祖の墓地も京都東山の頂上にあり、そこは京都のプロテスタントの全宗派の墓地でして同志社創立者の新島護氏の墓地もそこにあります。でも母の知らせの中で二つの疑問が僕の頭に浮びました。「新しいキリスト教を無料で教えに来る」。僕は母に「それだったらうちの教会の神父さんとは違うんですか」とすると母は「違うとも教会は等

持院の近くにあつて宣教師は若いアメリカ人と二世の人で集会費は一切無料で伯母ちゃんの物好きがその方に毎週教えに来て戴く様約束してお前にも来る様に云っていましたよ」。僕は興味半分それは珍しい事だと思ひ次の集會に母と二人でその家庭集會に出席しました。当時僕の心境は父と死別して四年目生れて初めて失望を味わっていました。家族は母と弟二人姉一人の五人で僕は将来呉服屋になる為京都のある染物屋に十年の年期奉公の務めをしていました。この務めは僕にとって最大の重荷でありました。父なき僕にとってその失望と重荷を自分の力で解決する事が不可能であるかの様に思いついに生きる望みすら失いかけていました。その時、僕は父の生前の

事を思い出しました。父は死に至る迄、主なる神に自己の罪を告白し死に直面して心からの祈りを主に捧げていた事を思い出しました。彼は息を引取る寸前妻の前で微笑しました。母にとって二十年間の結婚生活中で夫が一番嬉しそうな顔をされた時はその時であつた。母は安心して夫が天国に行つたと僕達に話して下さいました。僕はそれを思い出した或夜皆の寝静つた頃自分の寢室で一時間半に亘りへりくだつた祈りを主の御前に捧げました。僕の心はすべて主に委ねる事が出来まして少しは心に鎮りを覚えました。滴る涙をこらえて祈りの答を待ちましたが何の返答も無く寝てしまいました。その事があつて約一週間ほど経つて二人の長老に初めてお逢い出来たのであります。

その当時京都にも支部がありまして宣教師はデットン長老と渡辺長老（現在の東京南支部長）でした。最初の家庭集會で渡辺長老から天の父の全きが如く汝等も全かれ、人は幸福を得る為現世にあるなりについて教わりました。その後僕は父と子と聖靈についての質問をしますと彼はまた次の家庭集會で教えるからその時来て下さいとの事でした。僕は神を知る為貴方から福音を教えて戴きますが貴方

の教会に入るかどうかはまだ分りません。それでもよろしいでしたら毎週寄せて戴きたいのですが。すると彼は「はい宜ろしいです。

神様の福音は丁度この様なものです。今このテールに貴方が今迄に見た事も食べた事もない果物が出されたら貴方は先ず一つ丈食べるでしょう。もしその果物が貴方にとっておしいければ貴方はそれを日常の食物とすれば宜しい。けれどもその食物がまずければ貴方はもう二度と食べなくても良い」と教えて下さり、僕はそれ以来宣教師に好感が持てる様になりました。渡辺長老がその後すぐ転任され僕も少しは落胆しましたがデットン長老にお願いして一人で特別に家庭集會を開いて戴く様になりました。長老達の熱心な伝道はラッセル車が雪をよけて走る様に僕の求道生活を進めて下さいました。その内僕の心は聖靈に満され神を証しする所迄至りました。

翌年の十月十日永い一年半に亘る求道生活から罪の赦しのバプテスマを受ける事が出来ました。その時僕は安息日に毎週確実な休めなかつた勤務先も退職し誰からの束縛も受けない自由を与える神を主人として神の子たる僕は一社会人として又罪の赦しを受けた子羊の如く新しい純白の帆を天父なる神に委ねて

永遠の狭き道への航海に滑り出す事が出来ました。

僕は昨年十月十日でバプテスマを受けて三年目を迎えるに至りまして愛する二人の弟をも教会に導く事が出来、日曜学校には四人の兄弟姉と共に出席出来る様になりました。これらの事を神様に深く感謝し多くの宣教師方兄弟姉妹の愛に厚く御礼申し上げます。

最後に僕は教会に入つて得た大きな喜びは神とキリストが生きていらつしやる事とモルモン経が天使の手によつて運ばれた真の神の教えが書かれてある經典である事と聖書その他の聖典も正しく教えるモルモン教会を通して真理である事及び末日に於て予言者ジョセフ・スミスを通して真の神権を持つ神の教会が回復された事、又僕達五人の家族に与えられた最大の義務は福音の掟、救いの計画を知らずしてこの世を去つた多くの先祖の為に又現在与えられた兄弟のクサリも共に固く結ばれ天国に入る為系図を調べ神殿に行く事と、まだ福音を知らずしてさまよっている多くの神の子に、この救いの計画を宣べ伝へ貢献する事であると云う事です。信仰箇条にある様に我等はイエスキリストの贖罪により全ての人類は福音の掟と儀式とを守る事によりて救わ

れ得ると信ず。僕は今後とも多くの誘惑に打ち勝ち最後迄帆を下す事無く神の王国への航海に努力し成功出来ます様天父なる神にへりくだつて心から祈つています。神の喜ぶは人のくだけるたましいなり、全てイエスキリストの御名により申し上げました。アーメン

末日聖徒の考えによると、教会それ自体がゴールではなく、また人間は教会の為に存在しているのではなく、むしろ教会が人間の福祉のために存在しているのである。しかしながら教会は福音の原則を人々の生活の中に押し進めて行く一つの大切な機関である。

ベニオン著「末日聖徒の宗教より」
我々の使命は人を救うことにあり、それ故に我々は、人々にイエス・キリストの福音を伝え人々を悔い改めさせ、神の律法の要求する所に従わせる様に長い間努力して来たのであり、人々を悪から救い、悪を離れて善行を行う様に説いて来たのである。

ジョセフ・F・スミス
教会はその教義、および職を通して救いの計画の成就に必要な全ての活動を行わねばならぬ。また人間が、幸福の道に導かれる様な手段と導きを準備することも我々の宗教の保護機関である教会の責任である。人間の福祉に関する全てのことに教会は関心を持つべきである。
ジョン・A・ウイゾー

永 遠 の 結 婚



ある日のこと、一人の賢明な案内事務所のガイドが大勢の観光客の団を引率して神殿の敷地内を見せていた。ところでこのガイドが我々の宗教の或る教義について説明していた時、彼はむしろ愉快そうに次の様に話した。

「皆様はもうすでに私たちの結婚の理想について御聞きになっていらっしやると思いますが」と言う。「貴方の宗教について聞いていることはそれ位のもんです」とグループの中の一人の紳士が答えた。

我々の結婚に関する概念は今日まで教会の他のあらゆる教義よりも一段と多く語られたりまた書かれたりしてきた。しかし今日、この点に関する教会の教えはこのすばらしい宗教の他のあらゆる部分よりもっと少く理解されているという方が安全である。

ほとんどの人々は結婚の誓約を単に民間の契約と考え、財産に関する通常の契約よりも少しばかり拘束力のあるものに他ならないと思っている。プロテスタント(新教)によつ

てもまたカトリック(旧教)によつても「死が二人を分つまで」という悲しい言葉が結婚式で使われる。しかしながらカトリック(旧教)はこの契約を司祭によつて執り行わるべき教会の「秘蹟」と考えている。しかしこれらの司祭は地に於て結ぶところを天に於ても結ぶ権能を有っていると主張しているがしかし司祭は人々を永遠に結び合せようとは企てない。末日聖徒のみが結婚誓約の永遠なることを信じている。

結婚関係が永遠に持続するというこの考えは「モルモン教」の最もすばらしい原則の一つである。ある程度、この考えは我々が有っている未来の生活に対する考えより生ずるものである。我々は人体が実際に肉体的に復活するということを信じている。言うまでもなくこの信条は来世に於て我々は眞実、男でありまたは女であるということを暗示している。実に復活した後の我々は現在の我々と非常によく似通っているという事実は当然聖な

る家族のきずなが死後にも保たれるという結論に我々を導びく。

「モルモン教」で考えている天国は、いわゆるキリスト教徒と呼ばれている人々が考えている義しい人々の永遠に住むところとは非常に異っている。我々は他の教会のクリスチャン友達と同様に死後「同じ高き住い」に住むという考えを有っていない。我々はこの地球が浄化された曉には我々の永遠なるホームとなるということを知っている。この地上に於ける来るべきすばらしい未来の生活に於て我々は今与っている純粋な悦びの多くに与るのである。我々は愛する人々のためになす眞実の努力に対し感激を覚えるであろうしまた友達や親戚の人々と親しく交ることもでき得であろうし更にその終りなき生活に於て、我々は「父であり母であり、息子であり娘である」ということの永遠なる意義を学び知るであろう。しかしある人は「このすばらしい考えが眞実であるということを立て証する如何なる証明を御持ちですか」と云うかもしれない。我々にはユダヤ人の聖典の証詞がある。新約聖書は最も確かに肉体が文字通り復活するということの教義を述べている。この聖典に基いた教義よりして我々は当然、男女の婚姻関

係は死後も継続すると結論するのである。我々は聖書に記されている事実より断定することによってこの結論に達する様種々助けられる。たとえばアダムとイヴがエデンの園に置かれた時、二人は死ななければならぬ状態にはなかった。もし二人が禁断の木の実を食べていなかったならば二人は夫婦として永遠に生きて行くことが出来たであろう。我らの始祖についてイエスは「然れど閉びやくの初めより『人を男と女とに造りたまえり』、『斯る故に人はその父母を離れて、二人のもの一體となるべし。然ればはや二人にはあらず、一體なり。この故に神の合せたもう、人これを離すべからず』(マルコ伝十章六節―九節)と仰せになった。この聖句の用語から判断して夫婦の結合はこの世に於てもまた来世に於ても終りを告げるべきものではないと主は考へて居りたもうたということが極めて明らかに知られる。

使徒パウロはそのコリント人への書翰の中で「されど主に在りては、女は男に由らざるなく、男は女に由らざるなし」(コリント前書十一章十一節)と語っている。

古代の聖典と同様、理性によつても我々は結婚誓約が永遠に続くということを信ずる様

にかり立てられる。愛の物語はこの世に於て最も美しい物語である。この美しい愛の物語が何故死によつて断ち切らるべきであるか。人生の初期にあつて気品ある青年が美しく乙女に交際を求め、やがて二人は互に心から好きになり、婚約し、結婚する。そして二人は共に小さい家庭をつくり、子供をもうける。時が経つにつれ、夫は妻や子供たちを養つて行くために種々働いたり、計画を立てたりする。妻は子供をやさしくいたわり、保護する。彼女は子供たちに美しい人生の歩み方を教え、この家庭は小さき楽園となりまた聖なる宮居となる。この夫婦は相提携して仲よく人生を渡つて行く。二人は協力して懸命にその家庭を築き上げそして子供達を育てて行く。心と心で人生を歩んで行く。この美しい和合と愛と献身の物語が死によつて終りを告げると考えることは無情な考へではなからうか。

世には愛の物語は永遠なるものであるということを教えている一宗教がある。実に「モルモン教」こそその宗教に他ならない。モルモン教はこの世に於て共に結ばれた聖なる結婚生活にあつてこの世の生活の頂上にまで達する気高き人々は共に永遠に歩みを續けて

行くという崇高な考えを支持している。

この崇高なモルモン教の教えを耳にした一人の立派な思想家は次の様に語っている。

「諸君が愛する女性を胸に抱いて、たとえ日が暗くなり、星が消え失せようとも汝は我が妻なり、我が妻なり、永遠にわが妻なり」と言うことができるというこの考えはかつて人の頭に入ったことの中で最も気高い思想である」と。

この美しい永遠の結婚を可能ならしめる神の律法が教義と聖約の百三十二章に啓示されてゐる。その章の一部には「また、われ誠に汝らに告ぐ、ある男もしわが律法なるわが言葉によりまた新しく且つ永遠の誓約によりて妻をとり、これがわれによりてこの権能と神権の鍵を与えられ聖職に任せられたる者によりて為さる時、彼らに次の如く言わゆるならば、すなわち汝ら第一の復活に出て来るべし、而してもしそれが第一の復活の後ならば次の復活に出て来るべし、而して汝ら王位、王国、公国、その他権能、領土すべての頂上と奥とを受け嗣ぐべし、と言わゆるならば、なお「約束の聖きみたま」によりその結婚が結び固めらるるならば、それより子羊の生命の書に汝罪無き者の血を流す殺人を犯す

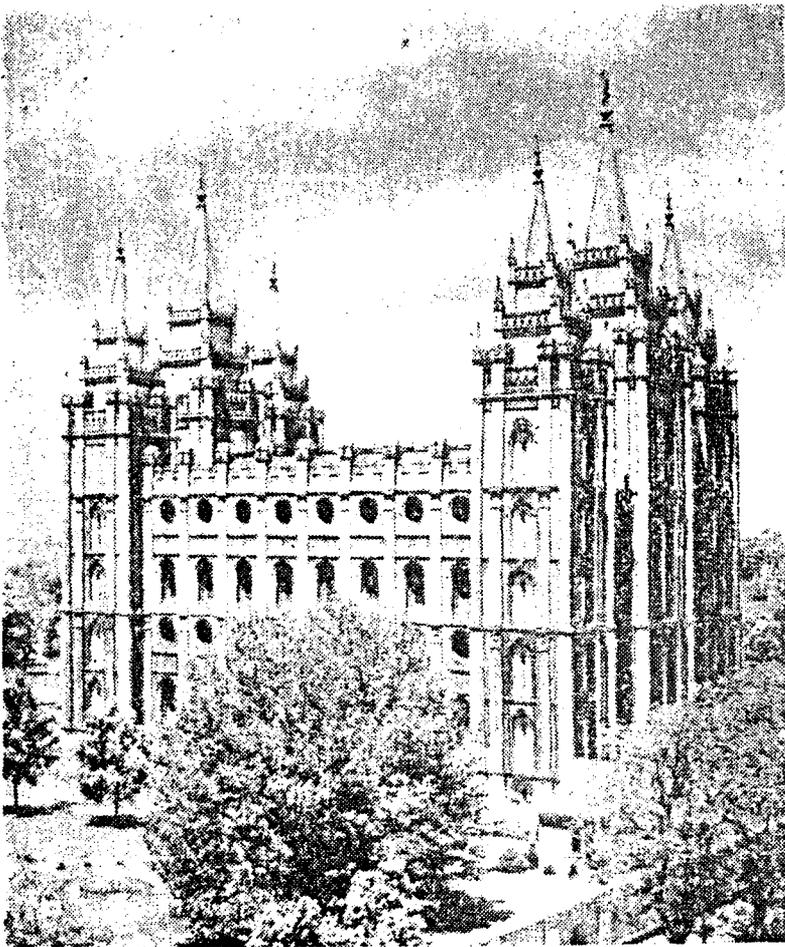
べからずと誌さるるに汝らわが誓約を守り罪無き者の血を流す殺人を犯さずんば、何事にまれわが僕の彼らに授けたる事はすべて今より永遠に亘りて彼らに為さるべく、また彼らこの世の外に去る時は充分効力あるべきなり。彼らは彼処に置かれたる諸天使諸神の前を通り過ぎ、各々その頭に結び固められたる如く、各々最高の榮に進むを得てあらゆる事に光榮を受くべし。この光榮は最高完全の光榮にして、永久にその子孫の続くことなり」。(百三十二章十九節)と記されている。

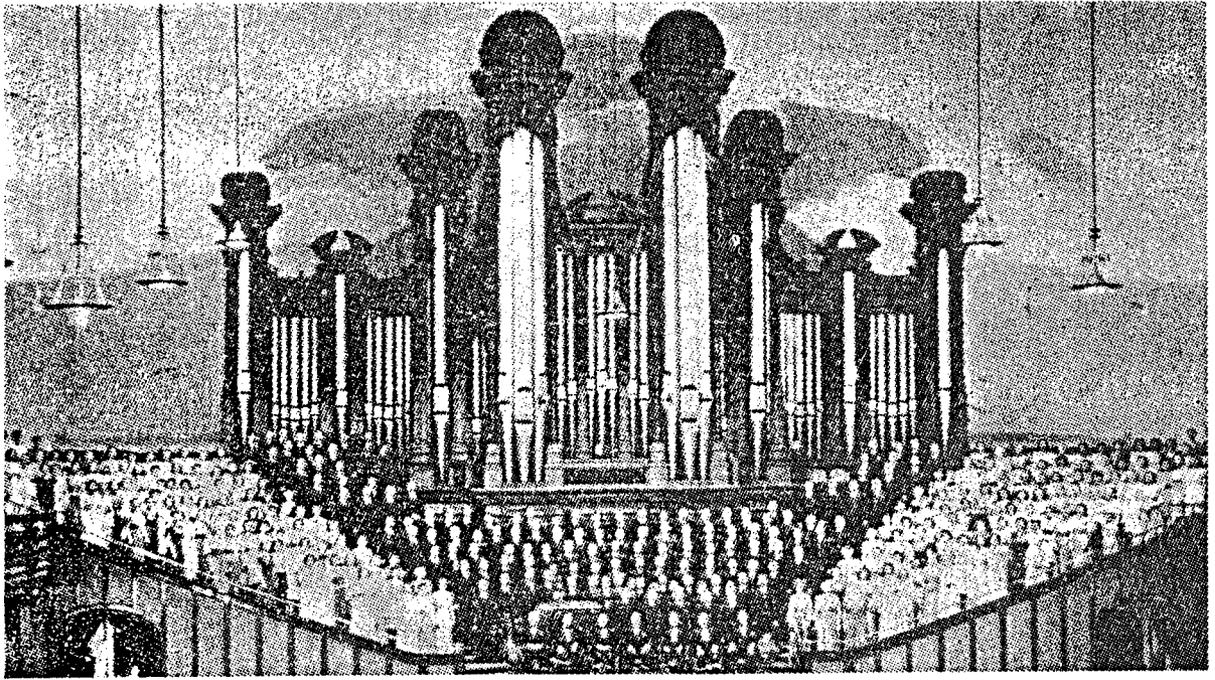
モルモン教は結婚に対する神の本末の目的を熱心に支持している。純粹な交りと聖なる親子關係を目的とした結婚生活は我々の宗教の根本的教義の一つである。恐らくかつて我々の宗教に対して浴せられた最も卑劣な非難は性の神聖なことに關する「モルモン」の考え方に向けられたものである。あるあら探し好きな人はブリガム・ヤング大管長は多くの子供をもうけることを好んだと述べた後、更に「モルモン教は性の意味を明らかにしている」と云ったということは最高の譴諍である。神御自身、その第一の大きいなる誠命の中で「生めよ、ふえよ、地に充てよ」と仰せになつた時に性は最も神聖なものであるというこ

とを宣言したもうた。「モルモン教」はこの神聖なる律法をうけ入れると共にこの律法は人類の遵守すべきところであるとしている。実に教會員は聖なる親となるために性を使うべきであると教えられている。「モルモン」の家庭は小さな天国でありまた樂園の一角であり、更に聖なる宮居でもある。そしてモルモンの家庭に於ては「お父さん」「お母さん」という呼名は最も神聖なもの

のであると考えられて居るし、また子供たちは高価なる「宝」と考えられている。まことに視たることは最後のまた最も神聖なる天職であると考えられているし、立派な子供をもうけ、養育することはこの世で夫婦がなし得る最大の奉仕であると考えられている。

(神権会年少者クラス用テキスト 第三十課より)





タバナクル合唱団

毎日曜日午前七時半F・E・N放送にダイヤルを合せると、深い、やわらかい、そして壮大なパイプ・オルガンの響きとすばらしい合唱を耳にすることが出来る。これは民族、教義、宗教を問わず、世界のすべての人のために捧げられる黙想のひとつであり、アメリカのユタ州、ソルト・レーク市にある末日聖徒イエス・キリスト教会（モルモン教会）のタバナクル合唱団、全米向け放送（C・B・S）の録音再放送である。

上の写真はソルト・レーク市のタバナクル合唱団と大パイプ・オルガンで、八十年このかた、この大楽器はわれ／＼末日聖徒の音楽美の象徴となっている。

タバナクル合唱団がK・S・L及びC・B・S放送を通して放送を開始してから今年で三十年になる。すなわち最初の放送が試みられたのは一九二九年七月十五日の月曜日で、指揮者はアンソニー・C・ランド、オルガニストはエドワード・P・キンポールであった。最初の説明者はエドワード・B・キンポールで、現在の説明者リチャード・L・エヴァンスはすでにこの頃から説明者の責任を受けていた。

J・スペンサー コーンウォールは一九三五年から一九五七年の秋まで合唱団の指揮に当ったが、現在はリチャード・P・コンデイが大管長会の召しを受けて指揮者の地位にある。

現在のオルガニストはアレキザンダー・シュライナーとフランク・W・アスパーで、交代で演奏している。

レスター・F・ヒューレットは一九〇〇年に任命されて合唱団の団長になったデビッド・A・スミスの後を継ぎ、一九三八年より現在に至るまで団長の職にある。

今日では、百以上の放送局を通してこのタバナクル・オルガンと合唱団のすばらしい演奏は全米に放送されている。日曜日の朝七時半からのF・

E・N放送に耳を傾けた人はだれでも、このプログラムが次のリチャード・L・エヴァンスの忘れ難い言葉で終るのを、気付かれたであらう。

「Again, we leave you within the shadows of the everlasting hills. May peace be with you, this day and always…… In another seven days at this same hour, music and the “spoken word” will be heard again from Crossroads of the west」

この合唱団はアメリカ本国のみならず、ヨーロッパの各国にも出向いて演奏会を開いているが昨年の末期にはアメリカ東部に演奏旅行を行なった。



フィラデルフィア交響楽団指揮者ユー
ジン・オーマンデイ（右）と語るリ
チャード・P・コンデイ（左）

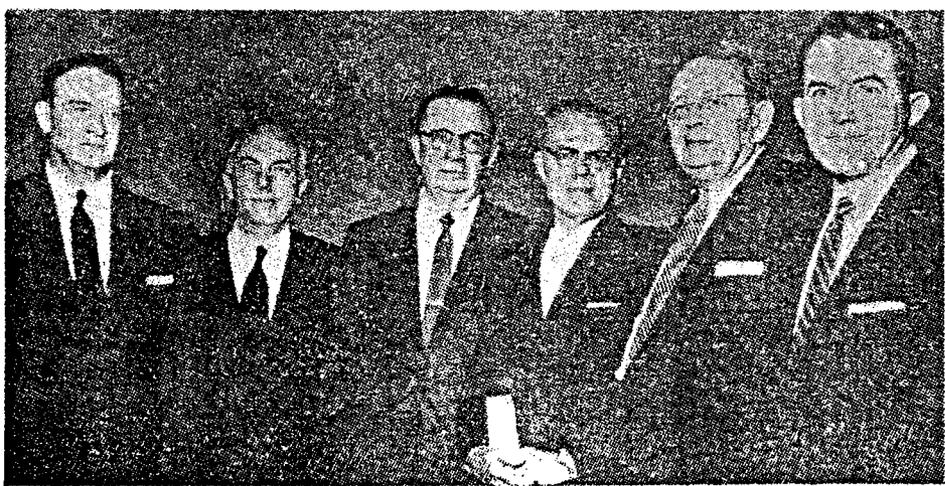
現在三百七十五名から成るタバナクル合唱団が東部に来た時、有名なフィラデルフィア交響楽団の指揮者であるユージン・オーマンデイ氏はわざわざハリウッドから飛行機で来、そして三時間に亘って合唱団と練習を共にした。

休憩の時間中、彼は「これは世界最も偉大なる合唱団であると言ひ」、また「ヨーロッパにも多くの専門的な合唱団があるが、このような合唱団は一つもない」と云った。

オーマンデイ氏は飛行場で指揮者のコンデイ及び合唱団の団長レスター・F・ヒューレットに会い、数時間に亘る練習の後、ハリウッドに帰って行った。

タバナクル合唱団は今や末日聖徒イエス・キリスト教会、否世界の誇る最大の合唱団である。善と美と真理とを求めるすべての人はこの合唱団の壮大なる演奏に耳を傾ける時、そこに神の大いなる力と愛とを感得し、靈感を受けている。特に自ら「歌う民」と称する末日聖徒は主の御言葉、すなわち「すべて心の歌ひわれの悦びなり。然り、義しき者の

歌はわれに對する祈りなり、彼らの頭に祝福を与えてその心えとなさん」（教義と聖約二十五章十二節）を強く心に銘じているのである。



タバナクル合唱団役員 左から指揮者のコンデイ、オルガニストのシユライナー、団長のヒューレット、エヴァンス長老、オルガニストのアスパー、副指揮者のウエルチ

Reading Machines

＝系図図書館装備を強化す＝

ジョージ・L・スコット

実際に教会の系図協会のマイクロフィルムされた記録には数十億の姓名が含まれている。神殿の儀式の為に先祖の姓名を探し求めている人たちを勇気づけるこの言葉は、系図の井戸はまだ／＼涸れない確信をもたらす。姓名の正確な数はまだ出されてないが、数十億と言われる統計は決して誇張されたものではない。

一九五九年十月一日、系図協会によって発行されたマイクロフィルムに就ての報告書には百呎巻きのマイクロフィルムが図書館に合計二二二、三八二巻、即ち三二八、九〇三、七五〇頁又は各三百頁の書一、〇九六、三四五巻に相当するだけに達した。図書館員は各頁が最低十の姓名から最高一、八〇〇の姓名を載せてあると報じているが後者はぎつしりと書かれてある英国教区登録であることがわかった。

合衆国並に外国に於ける教会マイクロフィルム作業員の活動により、現在、系図協会官文庫に於ける数量は毎月、一、五〇〇フィルムから二、〇〇〇フィルムの割合を以て増加している。図書館の書庫には最近の計算で六〇、八二八冊の書と二、〇二〇冊の稿本が全世界から集められている、そして月平均二

百冊を以て増加している。

系図協会総書記アーチボールド・F・ベネット及びマイクロフィルム部長・L・ガレット・マイヤースの言によれば、仕事は急速に進展して、その規模は現在全世界的なものとなっている。

実際にすべての文明国が教会のマイクロフィルム、ファイルに貢献している。ロシアすらも可成りの姓名録を間接に納めている。ヘルシンキに於て一二五巻以上のロシアの記録がマイクロフィルムに撮られ五〇〇巻のフィンランドの記録が目下記録されつゝあるのである。一巻のフィルムは姓名録三冊から五冊に相当する。

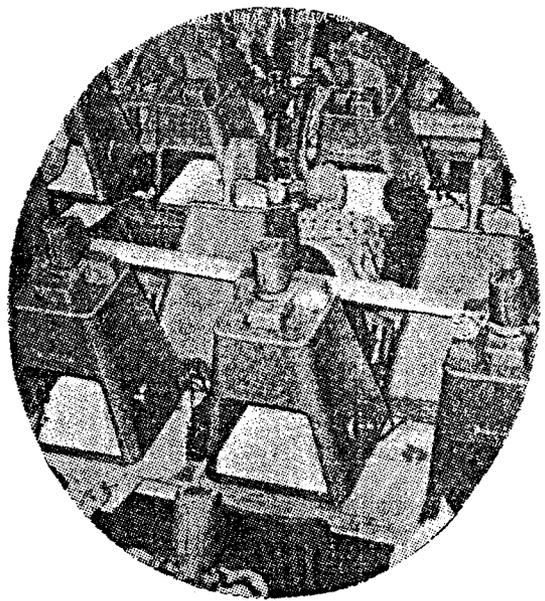
百フィート巻マイクロフィルムを提供した数を挙げた各国別の印象的な表が次に見られる。

国名 百フィート巻

一、スウェーデン 四九、五四三

二、大ブリテン

(イングランド、アイルランド、スコット



ランド、ウエールズ、マン諸島を含む)

三、デンマーク	二四、九六五
四、オランダ	二二、一二七
五、メキシコ	一八、六二二
六、フィンランド	一六、〇九九
七、ドイツ	一三、三一八
八、カナダ	一三、一一一
九、ノルウェー	四、三二二
十、ベルギー	三、六六五
十一、スイス	三、六二四
十二、アイスランド	八九七
十三、フランス	七六三
十四、イタリー	三九〇
十五、ニュージーランド	七二
十六、オーストラリア	五五
十七、諸外国	九〇
合計(外国)	五六〇
	一七二、二一四

更に日本其他アジア諸国から大体に於て歴史的なものであるが幾らか系図的価値のある若干の書籍が送られて来ている。

合衆国に於ける記録のマイクロフィルム化は最初、初期の十三州に集中された。この仕事は現在実際に、コネチカット、デラウェア、メイン、メリーランド、ニューハンプシャー、ノースカロライナ、ヴァージモント及びヴ

ージニヤに於て完成している。

協会は今も全国及びアメリカ地区から若干のマイクロフィルムを取得しているが、この仕事は目下アリゾナ、コロラド、デイストリクト・オブ・コロンビヤ、フロリダ、ジョージヤ、ハワイ、アイダホ、ケンタッキー、マサチューセッツ、ニュージャージー、ニューメキシコ、ニューヨーク、オハイオ、ペンシルヴェニア、ロード島、サウスカロライナ、テキサス、ユタ及びウエストヴァージニアに主力が注がれている。

アメリカの現在のマイクロフィルムの合計は五〇、一六八巻(百フィート巻)である。英国に於て教会は一四〇〇年迄遡る遺言状一八五一年迄遡る戸口調査の大部分をフィルムに撮った。

最近系図協会官文庫を訪問したヨーロッパの或著名な図書館員達が一四六台の判読機(リーディング・マシーン)が装備されてあるのを見て非常に驚き、教会の図書館は全ヨーロッパの図書館の持っている総計よりも多くの台数を持っていると称讚した。最近拡張された閲覧室に五十台の新しい判読機が追加されたばかりである。

世界最大にして最上に装備された系図図書館であると公認されている。

私の証詞

吉沢敏郎

(福岡支部)

信仰即ち望む所を疑わず、私達の五感によつて覺り得ない事を確實なものとする事は活動の決心を起させる主な原動力であり、これなくしては将来のために働く事が出来ないものです。これこそ人を人たらしめる重大なキーポイントです。私達の行動をよく分析して考えてみると多くの行動は実にこの信仰に基づいて居る事がわかります。例えば日常何の気なしに行つて居るよ

うにみえる朝仕事に出る時の事を考えてみましょう。殆んど無意識に起床し朝食をし靴をはいて職場に向かうようですが、この一聯の動作でもよく考えてみるとその一つ一つが皆んな或る種の信仰によつて行つて居る事がわかります。即ち朝起きるという行動をとるには今日も一日元気に働こうと思

わかります。こう考えて来ると人間の行為とか行動の殆んど全ては善かれ悪かれ又大なり小なり必ず信仰につながつて居り、又論理的にも信仰なしに行動するという事は考えられない事になります。もし信仰によらない行動があるとすれば、本能的衝動的なものとなり、本質的に動物の行動と変わらない事になります。

以上のように簡単な日常茶飯事の事柄一つをとつて考えてみても、人生に意義を生じさせるのは信仰によるのであり、それ故にこそ正しい信仰によつて人生を歩む事の大切な事はこれに較べる事が出来ない程のものと思ひます。今私は幸いにして回復された唯一の神の教会を見出し、その会員になつて絶えざる啓示と神の力と権能と交わることが出来る様になつた事について心から喜びと感謝をもっています。これこそ真実の生ける神とその御子イエス・キリストに對する信仰であります。私は現世は神に逢う用意をする時期である事をよく思い起し、神の御言葉である木が生え始める時からその実の生る時を待ち設けながら勉めはげんで、氣長によく信仰を以て養ひ、永遠

の生命を生ずる木となる事がよく理解出来
ます。このようにして得られた神の福音に
対する証しこそ私の唯一の財産であり、私
が地上から姿を消す日が来ても常に持つ事
の出来る最も貴重なものです。そしてこの

財産は末日聖徒イエス・キリスト教会の忠実
な会員として、教会の導きによく従って努力
する事によってのみ、大きくする事が出来る
と、イエス・キリストの御名を通して証しい
たします。アーメン。

習慣以上のもの

紙 谷 愛 子

(仙台支部)

「習慣的に教会へ行くのは大して意味が
ない」とか「教会へ行くことに対して心が
感謝と喜びでみたされていなくていいときは、
むしろ家において静かにひとときを過ごし
方がどんなにいいかしかない」というよう
なことをある人々が口にするのを耳にし
た。果たしてそうであるか。このことば
はいかにも真実らしく聞こえて人を惑わす
ものを持っている。

習慣は第二の天性であるといわれる。こ
れは習慣がいかに私たちの生活の根本的な
ものを左右しているかをよく示すものだ。
教会へ集うということはもちろんよい習慣

であり、必要な習慣である。心が喜びと感謝
でみたされていなくていいからといって主の宮から
離れるとき、私たちはその代りどんなひと
きを過ごしことになるだろうか。たとえ一人
で静かに祈りのときを過ごし得たとしても、
会員として欠くべからざる主との聖約を新た
にする聖餐にあずからないことによって、靈
性の発達のものか、阻害されていはいはしな
いだろうか。集会は神の救いの計画を実行す
るものにとってもっと大切な意味があるはず
である。教会に出席し兄弟姉妹たちとともに
神の前にぬかずくとき私たちの閉ざっていた
心は開かれ、神の祝福によって清い喜びがみ

ちあふれる。そのときでも自分の心が閉ざ
れていたままだとしたら、やはり出席すべ
きでなかったということになるであろう
か。そうではない。それはそれでなぜ自分
が主のみたまを受けることができなかつた
かというきびしい反省が生じなければなら
ない。そしてこの反省は私たちをふたたび
光の光へと導く力を持っている。こうして
私たちは自ら神の救いにあずかることを放
棄することなく、自分を靈的に成長させて
いくことができる。

教会へ行くということは一見習慣という
平凡な形をとってはいるものの、実はこの
事柄が私たちを神への感謝と、福音への勇
気に導いている。この習慣以上のものを見
出し、守りつづけていかなければならない
と思う。



|| 求道者のための読物 ||

モルモンとは

(1)

ゴルドン・B・ヒンクレー

一、彼らは如何なる人か？

モルモンと言うのは、末日聖徒イエスキリスト教会のあだ名である。一世紀に於てキリストの教会に改宗した人たちがクリスチャンと呼ばれたように十九世紀に於てモルモン経を信ずる事を告白した者たちがモルモンと呼ばれた。

その称号は残存してそれを変更したいような空気があまり見受けられなかつたが漸次末日聖徒イエス・キリスト教会と言う名称に変わつて来た。

これもまた言葉の説明を要する。「聖徒」と

からである。

プロテスタントか或はカトリックか？

彼らはカトリックでないので普通にプロテスタントと見なされている。実際に於て彼らはカトリックと相違している以上プロテスタントとも相違しているのである。歴史的に見てもまた現在の協調性にかんがみても神学的にまた實際生活に於て彼らは兩者何れにも組分けされないものである。如何なるキリスト宗派からも分離して生じたものではない。また如何なる宗教社会の分裂に結果されたものでもない。その起源の詳細に就ては後に学ぼう。その神学、組織及びあらゆる面に於けるその

はローマカトリックの伝統と実用に起因しているものではない。むしろその通念に於てパウロが初代教会に受入れられて居た会員に對し使つたものである。何となればモルモンは彼ら自身をイエス・キリストを信じその教会の会員である事に於てのみ聖徒と考えている

實際生活は今日のクリスチャン宗派間に於て全く独特のものであると言うことが出来る。それはキリスト教界に於ける興味ある異例である。その信奉者は彼らの組織の広範さとその効果的な實質に於て現代的なものとして組分けされるが而も彼らが我々が復帰せねばならない新約の教会と原則から背教があつたと言う信奉を保持する限りこの点に於て彼らは原始的である。

これらの人々は如何なる人か？

彼らは教育者、農夫、賢者、銀行員、商人及び其他殆んどどの職業に従事する者たちである。政府財政及び産業各方面の責任ある地位に彼らが見出される。多くのアメリカの大きな大学の学部内に彼らの名が存在する。アメリカ名士録の中に異常なパーセンテージを占めてゐる。第二次世界大戦に彼らの十万以上が参加したのである。

常識的に見て彼らは他の人々と変りないのである。彼等は特殊な信仰を公言し或独特の完成に到達している。

彼らは何処に住んでいるか？

彼らの数は、百三十万以上に達し世界中に大散在している。教会の支部は合衆国の各州

にまたカナダの部分の州に更にイングランドのすべての州に見受けられる。またスコットランド及びアイルランド、ドイツ、ベルギーフランス、スイス、チェッコスロバキヤ、オランダ、デンマーク、スエーデン、ノルウェー及びフィンランド、メキシコ、中部アメリカ、ブラジル、及びアルゼンチン、日本、朝鮮、大平洋諸島、ニュージランド、オーストラリヤ、及び南アフリカにも存在している。

モルモン教は根本的にストックホルムに於てもソルトレーク市に於けると同一である。

その哲学その教義その地方組織は世界中を通じて同一である。然しながらやはり多数の会員が住み比較的長い期間に亘って進歩して来た地方に於て教会の施設はよりよく發展しより顕著な業績が見受けられるのである。

教会会員の大部分は合衆國に住んでいる。

そして彼らの内最も多くの者がユタ州に住んでいる。さりながらアイダホ、アリゾナ、カリフォルニア、その他西部各州にも相当の末日聖徒が居住し国内の殆どの大都市に實質的集會が存在している。

ユタ州人口の七割以上は名義上モルモンでありソルトレーク市の人口の六割以上が教会の會員名簿に登録されている。この理由でま

たこの盆地が最初モルモンによつて開拓殖民されたのでソルトレーク市はモルモン市、ユタ州はモルモン州と組分けされた。然しこれは州外の人によつてそう見なされているのであつて州内の住民はモルモンであらうとなかろうとあまりこだわっていない。そこには判然たる組分けもなく、何ら宗教的頑迷の証拠も見受けられない。ソルトレーク市の最も尊敬された市長の内にユダヤ人が居たしまた著名な州知事の一人もユダヤ人であつた。

主なキリスト教宗派がすべて立派な教会堂と大きな集會を持つてゐる。市の最大なる放送局に於て多年に亘り毎日曜の夜モルモンのプログラムに次いでカトリックの放送がなされ、その他のすべての宗派がその人口の割合に基いて全く無料で時間を提供されている。

放送局共同管理の監督権はモルモン教会に所持されている。

もちろんすべての会員が信心深いと言うことは出来ない。他の大きな機関に於けると同様或会員は名義上のみである。さりながら並々ならぬ多数の者が積極的に参加している。

二十万足らずの都市に於て毎日曜に百以上のほる大きなモルモンの集會が見られるのは今日の宗教現象の或何物かである。

或地方に於てはあまり列席者が多い為一つの建物に彼らを適慮させる為二つまたはそれ以上の完全な組に分けて各々彼ら自身の集會の時間を設定させる必要が生じて来たのである。幾つかのモルモンの集會所が各々平均約九百名の會員を収容する三つの組によつて使われている。日曜日にはこれら各々の建物は早朝より夜遅く迄注意深く計画されたスケジュールで一ぱいになる。一週間の内毎夜また午後の大部分が教会活動によつて占められている。このような一ぱいになったスケジュールは會員たちに相當な不便を忍ばせる事になるが然も尙彼らは依然として継続けその数は増加しているのである。今日この状況を緩和する為広範な建築計画が着手されているのである。

教会は如何にして組織されたか？

會員の密集している処はワード部となり稀薄な地域は支部となつてゐる。各々特定の地理的区域内に居る會員を容する教区と同様教會の單なる単位である。

ワード部は通常四百五十名から千二百名の會員を要する。ソルトレーク市などに於てはワード部は單に三つか四つの区劃を含むに過ぎないが地方に於てはそれが数平方哩に及ん

でいる。通常各ワード部はそれ自身の礼拝堂
レクリエーションホール及び教室を含む教会
堂を持つている。

然しながら上述したように現在多くの場合
に二つまたはそれ以上のワード部が一つの建
物を分ち合っている。

幾つかのワード部がステーク部として知ら
れるより大きな教会の単位を形成している。
ステーク部は大別して管区に相当する。教会
に於て約千八百のワード部が二百以上のステ
ーク部に組入れられている。ユタ州アイダホ
州アリゾナ州の全地域に亘つてまたカリフォ
ルニヤ、ネバダ、ワイオミング、コロラド、オレ
ゴン及びワシントン各州の広範な地域に亘つ
てステーク部が見られる。また同様にニュー
ヨーク市ワシントン市シカゴ市デトロイト市
ピュート市ダラス市ヒューストン市ジャクソ
ンヴィル及び南カロライナのコンプトス市等
の各市内外のワード部はステーク部を組織し
た。

会員がまばらに散在している地帯には伝道
部が組織される。伝道部は地方部に分れ地方
部は支部に分れる。

モルモンの牧師たちは如何なる人であらう
か？今日の標準を以て見れば少くとも通常で

はない。そこには報酬を受けている職業牧師
は見られない。三十二人の最高幹部及び伝道
部長は生活費を与えられている。更に全労務
時間を教会に与えている少数の専門家及び書
記達がこれに追加される。これらが有給の人
と分けられるすべてである。仕事及び責任
の大半が財政的報酬を受けない人々によつて
なされ実際に於てこれらの人々は彼らの時間
及び才能のみならず彼らの財産をも惜し気も
なく捧げているのである。

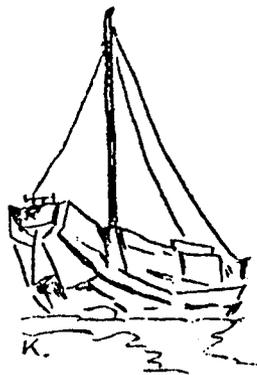
各ワード部は監督によつて管理されている。

彼は弁護士であつたり教授であつたり或は
他のほまれある職業であるかも知れない。彼
は清廉勤勉で教会に対し献身的であるに相違
ない。彼はその生活している社会に於て好評
をばくしているに違いない。彼は他の教会の
牧師と同様の責任を負っている。彼は礼拝を
準備司会し病人を祝福し貧者が世話されてい
るかどうかを調べ葬式を司会し結婚式を挙行
しその他大勢の人の福祉を見守る事をも含め
て数百の義務を遂行している。

彼は如何にしてこれ等の事をしながら尙且
彼自身及び家族の人達の生活費を稼ぐことが
出来るのか？少くともそれは重荷と言う事が
出来るが一般に喜んで果たされているのであ

る。けれどもそれは一人で果す事は不可能で
ある。組織がその答えである。教会の中に於
て活動的で何かをする事が出来るだけの年令
に達した人は普通に皆或責任を持つている。
実際に於て彼は幾つかを持つ事が出来る。
そして通常最も多く活動する人に成し遂げん
とする最大なる熱意が見受けられる。これを
可能ならしめ且つ必要である組織に就ては後
章に討論しよう。

モルモンは如何なる人か？の質問に帰ろ
う。彼らは通常實際的な人間であると同時に
特異な団体である。彼らは末日聖徒イエス・
キリスト教会の会員である。彼らは世界の各
地に於て政治的経済的社会的に異つた環境の
下に二十世紀の生活を二十世紀前に主によつ
て置かれた標準に適合させている点に於て特
に興味深いのである。





新に十二使徒に召された

ハーウアード・ウイリヤム・ハンター

九三五年頃ロスアンゼルス市会地区委員補助として働いた。いまだに彼の心の一部はスカウトプログラムによつて占められているの

ルーベン・クラーク・ジュニア副管長の提案により他の教会幹部と共に支持された。

アイダホ出身のハンター長老は一九〇七年十一月ボイシーに生れた。彼の両親は、ジョン・ウイリヤム及びネリー・M・ラスミューゼン・ハンターで、共にユタの生れであるが現在ではカリフォルニアに住んでいる。

彼はボイシーで初等教育を受け、一九二六年にボイシー高等学校を卒業した。それから彼はワシントン大学に入学した。

一九二七年に南カリフォルニアに行き、其処で銀行の出納係の職に就き、それから他の銀行の現金主任補佐となりその後カリフォルニア州銀行部検査官となりそれから、ロスアンゼルス郡河水調節監督局の土地所有権検査官となった。

彼はサウス・ウエスタン大学で法律を学

である。

ハンター長老は一九四〇年九月にパサデナ・ステーク部の前エル・セレノ・ワード部の監督に召され一九四六年迄務めた。彼は一九四七年にパサデナ・ステーク部の大祭司定員会の会長となり一九四九年にステーク部高等評議員会々員に召され一九五〇年にパサデナ・ステーク部長となった。

一九五〇年二月二十六日からシオンのパサデナ（カリフォルニア）ステーク部長であったハンター長老は一九五九年十月十日、土曜日の朝のタバナクルに於ける大会に於て、J・

「私はこの教会を愛しています」

今度十二使徒会員に召されたハーウアード・ウイリヤム・ハンター長老は鳴り響く証詞とこの声明を以てこの使徒へのお召しを受けたのであった。

彼が教会を愛していることは、彼が教会に對する不断の能力ある奉仕を通じて明らかである。少年時代、彼はボイシーに於て、イギリス・スカウト（ボーイスカウトの最高の階級）となり、その後カリフォルニアに移つてからアドムス・ワード部のスカウト・マスターを務め、更にその後分隊委員としてまた一

末日聖徒イエスキリスト教会歴史粹 (一)

ジョセフ・フィールディング・スミス著

はしがき

一般の読みものに使えると同時に神権者の定員会、教会経営の諸学校、いろいろの補助組織などに使う教本としての要求に適する一巻の教会歴史が必要であるということには人々に久しい間認められてきた。この度この本を編集するに当ってはすべて以上の要求に対して慎重な考慮を払った。この本の名前である「教会歴史粹」の中には、当教会の歴史上重要欠くべからざる諸点を選んでできるだけこれらが年代順に配列してあるという意味が盛られている。また予言者ジョセフ・スミスに与えられた数々の教義や啓示は注意深く学ぶ者はもちろんのことまた何気なくこの本を読む人々にとって面白くありまたためにもなるように望んで、これらを歴史上の重なる物語の中に織り込んである。さらにまたこの本はその材料の配列によってほかにもっと広

い範囲の歴史、とくに予言者ジョセフ・スミスの一生の時代が洩れなくのっている当教会の記録歴史全六巻を学修研究する熱意を讀者諸君に起させたいと思つて編集してある。当教会の歴史の歩みの中に起つたあらゆる重要な事件を一巻の書物の中にくわしくのせることは不可能である。しかしながら、この本はこれが書かれた目的に充分こたえるに違いないという希望をもつてその使命のため世の中に送り出される。この本の原稿を準備するに当つて、十二使徒評議員会々員ジョン・A・ウィッソ博士の与えられた貴重な援助をここに有難く感謝する次第である。またこの本を編集するに当りきわめて快く助力を惜しまれなかつたエドワード・H・アンダーソン、ジェー・M・ショダール、アンドルー・ジェンソン、オーガスト・ウイリヤム・ランドそのほかの諸長老に心からの感謝を捧げたい。

ジョセフ・フィールディング・スミス

教会歴史粹

第一部

序論 古代および中世に於ける福音

一、福音は律法よりも古い。エジプトを脱出した時からイエスキリストの降臨に至るまで、イスラエル人はモーセに与えられた律法の支配下にあった。多くの人々は救い主が福音を以てモーセの律法に代えたもうた時に、始めてあの偉大な救いの計画が人類の間に現われたと信じている。

しかし、福音はモーセの律法よりもずっと古い。福音は創世の前からすでに存在していた。福音の原則は永遠であって、これはイエス・キリストが「創世の前から殺される子羊」として選ばれたもうた時代、人間がまだ死ぬべき者にならない時代にすでに人間の霊たちに知らされていた。そして人間が死ぬべき身をもってこの地球に住むために必要な準備はすべて霊の生涯の間にとのえられていた。アダムがこの地球へきて人類の祖先になると定められたのはその霊としての生涯に於てである。

二、人類の墮落とその贖い。アダムとその子孫が死ぬべき身をもって世の中でだけ得られる経験をつむことができるためには、アダムはエデンの園に居るときに自分を支配していた律法を破り、これによって自分と自分の子孫

が死なねばならぬ身となる必要があった。人が高い栄光に昇るためには、経験をして自分の自由意志を使わねばならない。それから善悪をわきまえ御父の御旨に従うことによって、人は肉身をもって居る間に行った善い行いに対して必ず善い酬いを受ける。

人間の墮落によって誘惑と罪と死とが生じた。それであるから、贖い主のあることが是非とも必要であった。この贖い主が墮落を救うために身代りの贖いをなしたもうたので、全人類は信仰の如何、皮膚の色の如何にかかわらず、死者が復活をするときによりみかえって出てくる資格をすべてが与えられ、復活をした後各々の行為に応じて審かれるのである。「それ人によりて死の来りし如く、死人の復活もまた人によりて来り。すべての人アダムによりて死ぬるごとく、すべての人キリストによりて生かさるべし」

(欽定訳、コリント前書十五〇二十一—二十二)。

三、アダム個人個人の救いを教わる。人間が神の王国に高められたいと思うならば、彼は悔い改めて完全な福音を受け入れなくてはならない。これは個人個人の救いに必要なことである。この救いの計画はアダムがエデンの園から放逐された後にアダムに教えられた。アダムは御父の生みたもうた独子の御名によって、彼の罪を赦されるために水に沈められてバプテスマを受け然る後に聖霊を受けた。アダムとその妻イヴとは、彼らもまた「すべての罪より清め

られ、この世に於て永遠の生命の言を受け、来るべき世に於て永遠の生命、まことに不死不滅の栄光を受」けんため（モーセの書六〇五十九）その子供らに福音を教えよという命を受けた。そこでアダムとイヴとはこの誠命に従ってすべてこれらのことを彼らの息子や娘たちに教えた。このようにして福音は世の始めから教えられ代々つづいて宣べ伝えられた。アダムは聖なる神権を受け、この聖なる神権はまたアダムにつづく族長たちに授けられた。彼らは「義の道を説く者にして、これを語り予言を為し、至る所の人々に悔い改めんことを求めたり、而して、人の子たちに信仰教えられたりき」（モーセの書六〇二十二）。

四、福音はノアの時代に受け入れられなかった。ノアの時代には全員八人から成るノアの一家族を除き、福音はいたるところで受け入れられなかった。ノアは前から熱心に働き人類を悔い改めさせようと切に望んでいたがその効果がなかった。「そは、すべて肉あるもの世に於けるその道を腐敗せしめられたるなり」（モーセの書八〇二十九）。そして、かの大洪水で悪人たちが亡びた後、福音はひきつづきノアと後世の族長らによって教えられたがしばしば受け入れられなかった。サレムの王メルケゼデクはその忠実なことによって偉大な大祭司となったから、当時の教会の人々は「至高者の御名を敬い尊ぶあまりしばしば御名を繰返し唱うることを畏れ」、「神の御子の神権の聖なる神権」（教

義と聖約百七〇三・四）をメルケゼデク神権となえて彼を敬まった。アブラハムはこのメルケゼデクから神権を受けた。そして主の正しい認可を受けた僕べとしてのメルケゼデクに彼は自分の全財産の中から「自分の一」を納めた（創世記十四〇二十）。

五、アブラハムとの誓約。アブラハムにもまた福音が宣べ伝えられ、主は「アブラハムとその子孫によりて天下の民皆さいわいを得べし」という誓約をアブラハムと結びたもうた（創世記二十二〇十八）。これと同じ福音はその簡単な真理のままイスラエルの子らにも宣べ伝えられたが彼らは福音を完全なまま受け入れるねうちのないことを証明した。それはイスラエルの子らが氷い間エジプトの地に留り、エジプトの習慣と言伝えと神学とを取り入れて「聞きしところの言益なかりき。聞く者これに信仰を交えざりしによる」（ヘブル書四〇二）となったからである。主はその完全な福音と権能とをイスラエルの子らの中に確立しようと努めたもうた。それでモーセはこれらを明らかに教え「その民神の面を見ることを得んために」彼らを聖くしようとした「されどその心を頑固にしたれば、神の御前に出るに堪えざりき。故に（主の憤り彼らに向って燃えたらば）、主は怒りたまひ、彼ら荒野に在る間休息に人るべからずと誓いたまえり」（教義と聖約八十四・二十三・二十四）。

伝道本部 だより

解任

ロバート・デイビス長老とジョン・ウイン長老は十二月十七日、デー・リース・キング長老は十二月二十二日に解任された。

マサル・シミズ長老 室蘭へ
ジェームス・ハルビカム長老 札幌へ

バプテスマ

任命

ラリー・ビンガム長老

広島支部長

ジョン・ワンラス長老

名古屋支部長

マルカン・テラー長老

那覇支部長

転任

ケント・マロー長老

アラン・バカーシー長老

東京北へ

ドナルド・ヒル長老

韓国へ

デビッド・ワール長老

阿倍野へ

神崎 良太郎 東京北
高島 嶺子 〃
吉野 健治 〃
山下 真子 〃
道岡 多毛 〃
高柳 郷行 〃
筒屋 露子 東京西
影森 阡夫 〃
北村 俊夫 東京南
成田 寿美子 東京中央
松島 烈偉 〃
河合 孝子 〃
糸賀 静江 〃
五味 啓倫 〃
天谷 紀子 〃
熊谷 淑子 札幌

安達 約子 〃 島村 毗司
宮本 久子 三ノ宮 小泉 裕功
中村 千登世 岡山 関口 時彦
影山 千鶴子 〃 佐伯 忠晴
飯尾 豊 西ノ宮 小島 健嗣
飯尾 文 〃 松本 襄
宮城 幸子 那覇 〃
津嘉山 佐 普天間 富岡 康
他に韓国で四名がバプテスマを受けました。

神権

◎執事

後藤 恭

三浦 忠雄

新木 恵一

小林 幸司

矢野 信保

松浦 孝康

◎教師

相良 健一

◎長老

小室 敬

大林 吉之助

日坂 忍

菊地 良彦

植原 昭喜

富岡 康

◎祭司

松本 襄

他に韓国で執事四名、長老二名の任命がありました。

結婚

岡町支部中川宗幸兄弟は広島支部の山田美和子姉妹と十月十二日結婚式をあげられた。

"Happy New Year!"

1901

身の燈火は目なり

この故に汝の目ただしくば

全身あかるからん。

Paul C. Andrews

Misses Katake & Otsuka
Mrs. M. Otsuka

今井 一
Hiroaki Sato

Edwin Henry
Fukuhiko



月刊「聖徒の道」第四卷第一号

一九六〇年一月一日発行

実価 一ヶ年 三百円

一部 三十円

編集兼
発行人

ポール・C・アンドラス

発行所

東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

表紙の説明

ハロルド・ビンガム・リー長老

十二使徒会会員のハロルド・ビンガム・リー長老は教会および政府内でまた社会教育界に於て多くの資格を以て奉仕してきたという履歴を持っている。

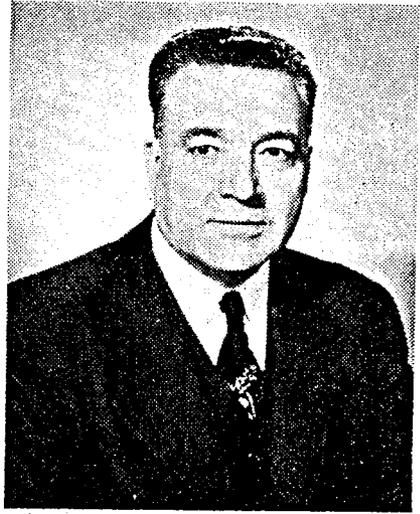
彼は1899年3月28日にアイダホ州クリフトンに於てサムエル・マリオン・リーとルイス・エメリン・ビンガム・リーとの間に生れ6人の子供の1人として農家に育った。

学生時代にはリー長老は討論会およびバスケット・ボールに活動的であった。彼はトロンボンとピアノをよく奏でた。オネイダの学校を卒業してから彼は、ソルトレーク郡の或一つの学校の校長になった。彼はソルトレーク市の開拓者ステーク郡の補助組織および高等評議員会および会長会で働いた。

リー長老は教育界から実業界に入った。その後、間もなく彼はソルトレークの市参事会員となり、1937年、教会の福祉計画の理事長に任命されるまで務めた。

リー長老と以前のファン・L・ターナーである彼の妻との間には、2人の娘と7人の孫が居る。

彼は1941年4月に十二使徒会の一員に任命されてからは、教会所属軍人委員会およびその他多くの任務に携った。彼は「若人と教会」という本を書いた。1953年にユタ州立農業大学より人道主義者としての光栄ある博士号を受けた著名なことは卒直敬虔な、そしてその仲間に対し献身的僕である彼にふさわしいことであった。



リー長老夫妻の思い出

1954年の秋に日本伝道部にリー使徒夫妻をお迎えしたことは、私たち日本人会員にとって大きな祝福でありました。仙台で開かれました秋の地方部大会にも出席され、その岩の如き体軀と信仰から迸り出る福音に私たちは見て驚嘆し、嬉しさに言葉もなく各人がこの教会に対するゆるがぬ証詞を胸の奥深く植付けられたことを深く感謝したのでした。

歓迎会の時私は余興の一つとして梅津姉妹の家で家宝として保存している上杉家で使用したと言われる名刀を以て剣舞をしたのですが舞台が狭かったので下で行い、高くふりかざした刀を真向から振下した時並居る者は皆驚いて思わず身を退いたが、最前列に坐って居たリー使徒は微動だにしないのを見て、泰然たる磐石の如き姿に強く印象づけられました。支部建物の献堂式を挙げられ、私は使徒の通訳をしたのですがあの頼もしい腕で抱かれるようにして壇上に立った時は何だか、ペテロかパウロと共に主の御許に在るような何とも言えない力強さを覚えました。

一般大会の時当時四才の聖子が開会の祈りをして私は通訳するように壇上に呼ばれたのですが終って聖子も私もその儘壇上のリー夫妻の側の椅子に坐らせられたのです。2時間に亘るその大会の間に、聖子があきてもじもじし出すと側に坐って居られた、リー姉妹がハンドバックからキャンデーを出してそっと渡されました。それを食べて暫く静かにしていましたがまたもじもじし出して私がはらはら気をもんでいるとまたキャンデーを渡された。最後には鉛筆と紙を渡されたが聖子はそれで何か描いていたらしくじっと静かにしている内に会は終って、私もほっとして、リー姉妹の思いやりある機転に深く感謝したのでした。翌朝私がリー夫妻をお見送りに行った時、汽車の席に着かれたリー姉妹はハンドバックから一枚の紙を取り出して私に見せ、これは貴方のお嬢さんが描いたお人形さんです。記念にアメリカにいただいて帰ります。私はこの画を見る度に貴方のお嬢さんを思出すでしょうと言われました。私はかねがねリー姉妹が多くの教会の信者から母親のように慕われていると言うことを聞いていましたが、今このやさしく深い真の母親のような慈愛に強く打たれ何か胸にこみあげて来るものを抑えることが出来なかったのです。

(渡部生)